

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第46週の発生動向

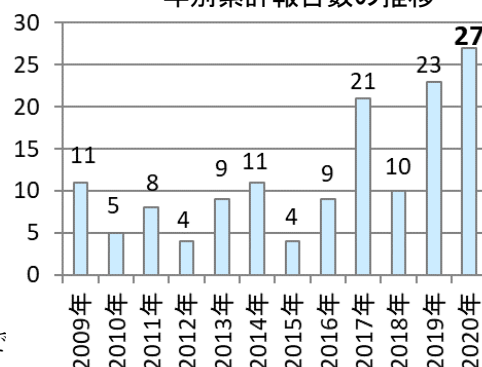
トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が1例あった。前週までの届出は373例であり、届出総数は374例となった。

・**梅毒**(全数報告の感染症)の報告が宮崎市保健所から3例あった。県内の今年の累計報告数は27例で、1999年以降最も多くなった前年(23例)を超える報告数となっている。性別は男性が22例、女性が5例で、年齢群別では、20~30歳代が全体の約8割を占めている。

*2020年は46週まで

【梅毒】診断週による
年別累計報告数の推移



全数報告の感染症 (46週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：つつが虫病2例。5類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病1例、梅毒3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	結核性胸膜炎	発熱
4類	つつが虫病	都城	30歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			70歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	都城	70歳代	男	ゲルスマン・ストロイスラー・シャインカー病 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、小脳症状、記憶障害、異常感覚
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	扁平コンジローマ
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹

指定感染症 (46週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	報告保健所	年齢群	性別	症状等
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	60歳代	男	発熱、咳、てんかん発作

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は315人(定点当たり9.4)で、前週比116%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

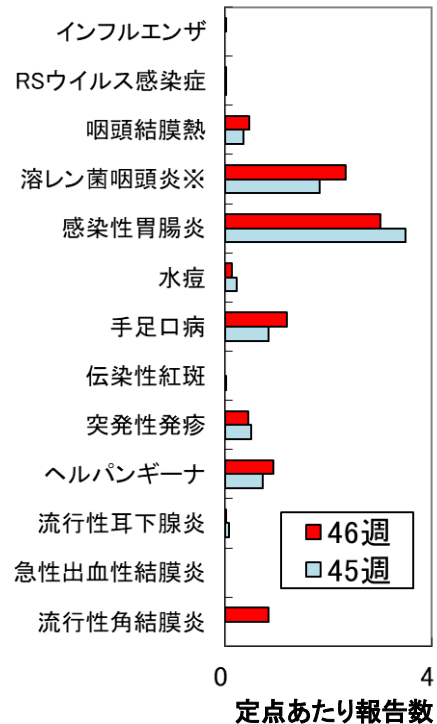
報告数は84人(2.3)で、前週比127%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)とほぼ同程度であった。日南(5.7)、高鍋(4.3)、延岡(3.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は4～6歳が全体の約4割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は34人(0.9)で、前週比131%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.3)の3.8倍であった。中央(8.0)、日向(1.5)、宮崎市(1.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳が全体の約6割を占めた。

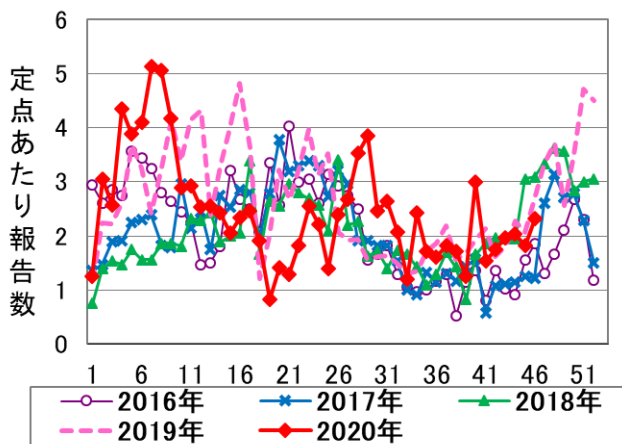
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

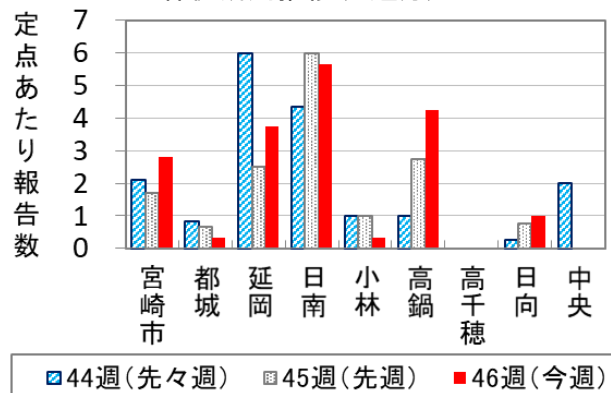


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

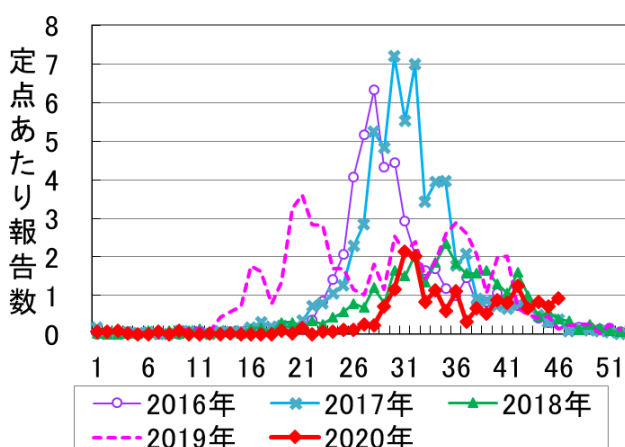
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



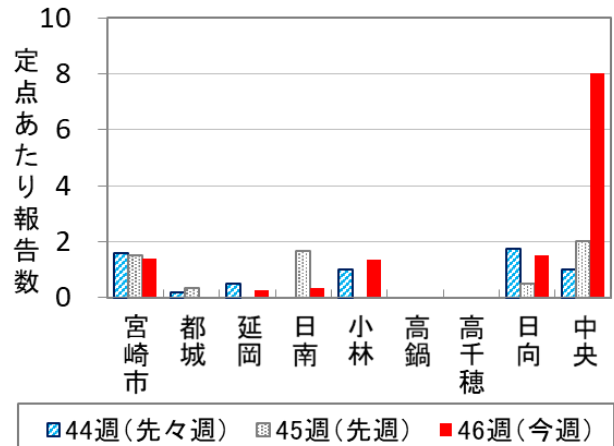
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(5.0)
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	ヘルパンギーナ(8.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

🇯🇵 全国 2020 年第 45 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 45 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	214 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	86 例				
4類感染症	E 型肝炎	8 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	7 例
	レジオネラ症	35 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	33 例
	水痘（入院例）	5 例	梅毒	58 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	8 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 94%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病及びヘルパンギーナであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,023 人(0.6)で前週比 82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約 0.3 倍であった。鳥取県(2.3)、宮崎県(1.8)、新潟県(1.4)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 5,662 人(1.8)で前週比 103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(5.7)の約 0.3 倍であった。山形県(6.3)、福岡県(5.2)、大分県(4.4)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2020年10月>

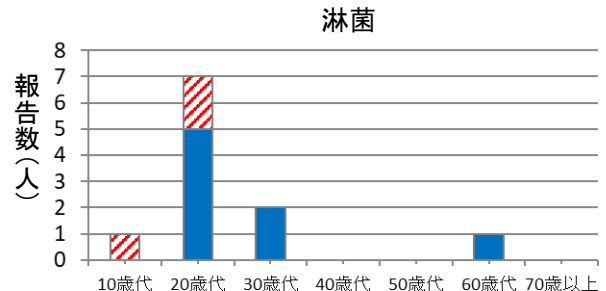
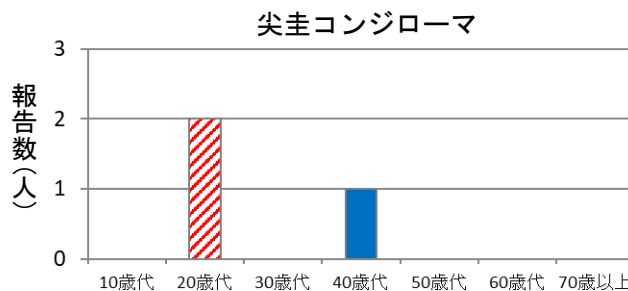
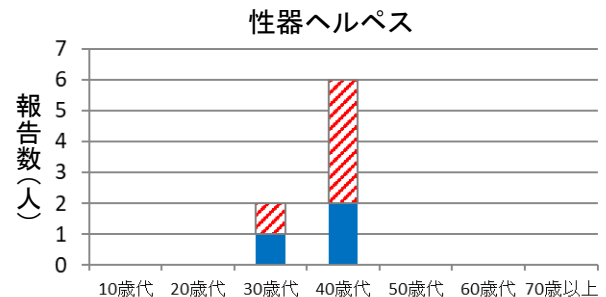
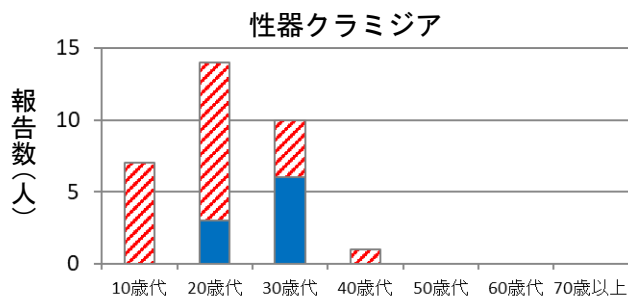
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は54人(4.2)で、前月比142%と増加した。また、昨年10月(2.7)の154%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数32人(2.5)で、前月の約1.4倍、昨年10月の約1.1倍であった。
20歳代が全体の約4割を占めた。(男性9人・女性23人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の1.3倍、昨年10月の約2.7倍であった。
(男性3人・女性5人)
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月と同じであった(昨年10月は報告なし)。
(男性1人、女性2人)
- 淋菌感染症：報告数11人(0.85)で前月の1.8倍、昨年10月の3.7倍であった。(男性8人、女性3人)



■ 男 ■ 女

【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,804人(4.9)で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,628人(2.7)で前月比109%、性器ヘルペスウイルス感染症805人(0.82)で前月比105%、尖圭コンジローマ512人(0.52)で前月比98%、淋菌感染症859人(0.88)で前月比111%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は11人(1.6)で、前月比48%と減少した。また、昨年10月(2.7)の58%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数11人(1.6)で、前月の約0.5倍、昨年10月の約0.6倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,351人(2.8)で、前月比106%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,282人(2.7)で前月比104%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症57人(0.12)で前月比133%、薬剤耐性緑膿菌感染症12人(0.03)で前月比300%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第46週(11月09日～11月15日)

疾病名	第45週	第46週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1		1							
	定点当り	0.00	0.02	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	1	1		1						
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	17	5	5	4		3			
	定点当り	0.36	0.47	0.50	0.83	1.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	66	84	28	2	15	17	1	17		4
	定点当り	1.83	2.33	2.80	0.33	3.75	5.67	0.33	4.25	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	126	108	23	24	5	15	16	8	2	13
	定点当り	3.50	3.00	2.30	4.00	1.25	5.00	5.33	2.00	2.00	3.25
水痘	報告数	8	5	4				1			
	定点当り	0.22	0.14	0.40	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	30	43	7	30		3	1	2		
	定点当り	0.83	1.19	0.70	5.00	0.00	1.00	0.33	0.50	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1									
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	18	16	4	5	2		1	1		3
	定点当り	0.50	0.44	0.40	0.83	0.50	0.00	0.33	0.25	0.00	0.75
ヘルパンギーナ	報告数	26	34	14		1	1	4			6
	定点当り	0.72	0.94	1.40	0.00	0.25	0.33	1.33	0.00	0.00	1.50
流行性耳下腺炎	報告数	3	1								1
	定点当り	0.08	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数		5		3	2					
	定点当り	0.00	0.83	0.00	1.50	2.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～46週)

2類感染症	結核	140例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	22例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	6例
	つつが虫病	9例(2)	日本紅斑熱	13例
	レプトスピラ症	1例	重症熱性血小板減少症候群	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	5例
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例(1)
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	水痘(入院例)	9例	梅毒	27例(3)
	破傷風	5例	百日咳	37例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	374例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
			侵襲性肺炎球菌感染症	10例
			播種性クリプトコックス症	2例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

()内は今週届出分、再掲